



災害ボランティアコーディネーター養成講座開催!

1月31日(土)に災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催し、町内在住18歳以上の方14名が受講されました。防災や災害時の活動に関心のある方を対象に、全3回の実践型講座として行いました。

講座①では『三重県で想定される災害と防災体制～自然災害から身を守る～』をテーマに、三重県防災対策部 地域防災推進課 防災技術指導員の岩本 久美様よりお話していただきました。後半は、地図に書き込みながら地域の危険性を“見える化”するDIG(災害図上訓練)を実施し、社協周辺の地図を使って『どこが危ないか』『その時どう行動するか』をグループで考えました。アイスブレイキングも進み、意見が活発に交わされました。

講座②では、玉城町防災ボランティアのみなさまを講師にお招きし、避難所運営ゲーム HUGを体験しました。避難者一人ひとりの状況(年齢や家族構成、体調、配慮が必要なこと等)が記されたカードを用い、避難所の体育館や教室に見立てた平面図に『どのように配置するか』を考えます。さらに、避難所で起こる様々な出来事に対して『何を優先し、どう対応するか』を疑似体験しながら学ぶ内容です。

参加者はこのゲームを通して、要援護者への配慮を踏まえた部屋割りや動線を考えながら、炊き出し場・仮設トイレなど必要な設備の設置場所も検討し、意見を出し合いながら避難所運営を学びました。今回は玉城町のみなさんが考案した玉城町Ver.を体験し、「度会町バージョンもやってみたい。多くの人に体験してもらい、備えにつなげたい」という声も上がっていました。

講座の合間には、ポリ袋を使ったお米の炊き出し・試食も行い、「初めてだったけれど、おいしく炊けた」「家でもやってみます。ポリ袋のストックも必要だね」と、日頃の備えにつながる感想が聞かれました。

講座③では、Y-RESILIENCE代表の山本 俊太様を講師にお迎えし、『災害ボラ

ンティアセンターとプロボノとの連携について』としてお話をいただきました。山本様は専門技術系NPOとして重機や特殊技術を用いた災害救援に携わり、熊本地震、能登半島地震など全国各地で対応されており、現場の具体例を交えた内容に受講者の関心も高まりました。「様々な活動を“福祉”の視点で支えている」という言葉が印象に残った、という声もありました。

閉講式では受講者14名全員に度会町社会福祉協議会会長より修了書を授与し、今年度の講座は幕を閉じました。来年度も開催を予定しています。防災を学びたい方、地域で何かできることを探している方は、ぜひ次回ご参加ください。



DIG体験の様子



↑炊き出しの様子
↓HUG体験の様子



節分の豆まきを楽しむ♪～れんげ草～

節分の週に、デイサービスれんげ草で『曜日対抗玉入れ大会』を開催しました。月曜から金曜まで曜日別の合計点で競い、どの曜日の利用者さんが優勝するかを決める熱戦は、思わぬ展開を迎えました。

ルールはシンプル。鬼が立ちをだかる籠をめぐらして、邪気を払うようにおじやみの玉を投げ入れ、入った数を得点として数えます。

月曜日は57点、火曜日56点、水曜日は52点と週の前半は1点を争う大接戦。木曜日には12名の皆さんが気合十分で挑み、6

7点という高得点を記録しました。投げ終えた後には「いい点やな!」と笑顔がこぼれ、会場の期待も一気に高まりました。「優勝は木曜日で決まりかな…」そんな声も聞かれました。

ところが最終日、金曜日の参加者は8名と少数でしたが、開始の合図とともに、まるで吸い込まれるように玉が次々と籠の中へ。集中力と息の合った動きで得点をぐんぐん伸ばしていきます。終わってみれば82点。圧巻の逆転で、金曜日チームが優勝をさらいました。

この快挙に、毎日通う利

用者さんからも「金曜日の団結力はすごい!」と、驚きと称賛の声が上がっていました。

最後は勝ち負けを超えて、会場は笑顔に包まれ、福を呼び込む締めくくりとなりました。鬼も驚くほどの大盛り上がりだった一週間でした。



優勝を喜ばれる
金曜日チームのみなさん

南伊勢高校 福祉体験教室 度会校舎

1月28日(水)に南伊勢高校度会校舎で2年生を対象に福祉体験教室を開催し、10名の生徒が参加しました。今年度は『ふれあいのなかで、共に生きることを～車椅子バスケットと車椅子体験とおし、身近な“ふくし”について考えてみよう～』をテーマに行いました。三重県身体障害者総合福祉センターの職員さんとパラスポーツ指導員の方々のご指導のもと、車椅子バスケット用の車椅子に乗って走行体験やシュート練習、鬼がボールを持って車椅子を走行し、相手をタッチして鬼を交代していく『

車椅子鬼ごっこ』をしたり、実際に試合も行い盛りだくさんの内容でした。

つづいて2～3人のグループに分かれ、介助用車椅子に乗り、『介助する人』『介助される人』へ役割を分担し、段差を乗り越えたり、スロープを走行する体験も行いました。

参加した生徒より「車椅子に乗ると、バスケットボールがいつもより遠く感じ

ました」「競技用車椅子と介助用車椅子の違いを初めて知りました」「たった3cmの段差を車椅子に乗ったまま乗り越えることがこんなに大変なんて…驚きました。貴重な体験をさせていただきありがとうございます。高校生のみなさんのこれから歩いていく道しるべのひとかげらになったと感じ、うれしく思います。



車椅子体験の様子

「家族介護者のためのストレスケア及び認知症の方への対応について」～介護教室に15人が参加～

2月19日（木）に度会町保健センター栄養指導室で介護教室が開催され、15名の方が参加されました。介護教室は、介護者のみなさんが介護に関する知識や技術の勉強会を行ったり、介護者同士の交流を図ることを目的として開催しています。今回は合同会社たまきあいより野口 美枝様をお招きし、『家族介護者のためのストレスケア及び認知症の方への対応について』という内容で実施しました。介護する人・介護される

人の気持ち、メンタルヘルス＝心の健康、介護ストレスの原因と発散方法や認知症とは何かについてなどについて、野口様ご自身の家族介護の体験やケアマネジャーとしての経験などをふまえながら、わかりやくお話ししてくださいました。その後、3グループにわかれて、玉城町で作成された『認知症あるある双六』ゲームを行い、楽しみながら認知症についての理解を深めていただきました。また、寄り添うことの大切

ささについての本の朗読もあり、参加者の皆さんは傾きながら耳を傾けられ、「実際の介護をするにあたって、大変参考になった」「とてもいいお話でもっと聞きたかった」などのお声をいただきました。



双六ゲームの様子

災害ボランティアセンター運営訓練を実施！

2月14（土）に度会町地域福祉センターで今回2回目となる災害ボランティアセンター運営訓練を行い、職員を含めて38名の方が参加しました。

災害ボランティアセンターとは、被災者・被災地を主体としながら、ボランティアの協力を得て、地域の復興につなげていくことを目的とした、災害時に設置されるセンターであり、被災地での災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。近年では、被害の大きな災害に見舞われたほとんどの被災地に立ち上げられ運営されています。実際に度会町で大規模災害が発生した場合は、行政からの要請に基づいて社会福祉協議会が災害ボランティ

アセンターを開設・運営することとなります。今回は、水害での被害を想定した訓練を行い、参加者全体で今できることや今後の対策や対応について考えました。

まず初めに三重県社会福祉協議会 地域福祉課 課長 山口 訓広 氏より、運営訓練の内容説明と四日市市豪雨災害支援活動報告をしていただき、訓練の流れのイメージをしていただきました。

その後、センターの運営役、ボランティア役に分かれ、災害ボランティアの受付から活動報告までの一連の流れをウォークスルー式で体感してもらいました。今回はボランティアの受付と報告の班において三重県社会福祉協議会が考案され

た『災害支援アプリ』を導入し、QRコードを使ったボランティア受付や活動報告を行いました。また、運営係では『全体運営管理表』を設置し、各班（主にマッチング班、送り出し班、報告班）からの情報を集約してこの表に記入し、センター全体の動きをリアルタイムで把握できる試みにも挑戦しました。

訓練後に、運営係ごとに分かれ振り返りの時間を持ちました。「災害ボランティアセンターの機能や仕組みについて理解ができました」「こういった取り組みを継続して実施してもらい、災害に備えることが大切だと思います」といった意見や感想が挙がっていました。

説明を聞かれる参加者の皆さん



それぞれの役割に分かれての訓練の様子

無料法律相談のお知らせ

日時 **3月18日（水）**
午後1：30～3：30
場所 度会町地域福祉センター
相談員 弁護士 北岡雅之 氏

法律に関する心配ごと、悩みごとを抱えている方の相談を行いますので、お気軽にご相談ください。



※事前に度会町社協へ予約が必要です。

吉田福祉基金様より 車椅子をご寄贈していただきました

2月6日（金）に、多気町の吉田福祉基金館において、吉田福祉基金様より車椅子5台をご寄贈していただきました。いただいた車椅子は、老人デイサービスにて使わせていただきます。ありがとうございました。



ありがとう
ございました



度会町老人介護者の会 会員募集

度会町老人介護者の会は現在17人の会員が入会しています。介護をしている中で、でてくる悩みや疑問を話したり、同じ経験をしている仲間と交流を深め日頃の疲れや悩み、ストレスを解消しています。年間を通じて、リフレッシュ事業と総会、施設の視察研修などをおこなっています。

年会費：1,000円
(途中入会の場合、月割りになります)

ご自宅や施設などでご家族の介護をされている方ならどなたでも入会することができます♪

【お問い合わせ・お申込み】

度会町社会福祉協議会

☎62-1117 中津まで



4月

3日 食事サービス
7日 食事サービス

10日 食事サービス
14日 食事サービス
16日 民生委員児童委員協議会定例会
17日 食事サービス
21日 食事サービス
22日 遺族会 護国神社参拝

24日 食事サービス
28日 食事サービス

